

【家庭数配布】

小中一貫校 南アルプス市立白根飯野小学校

学校だより

白根飯野 桜梅桃李

【学校教育目標】

～郷土を愛し、たくましく生きぬく子ども～

【9年間で目指す児童像】

～思いやり、創造力、すこやかな体をもち、

未来を担う 白根こまっ子～

令和7年 9月 29日 No10 文責 保坂 泉(校長)

“運動会に向けてがんばってます！”

猛暑厳しい中、2学期が始まったと思っていたら、もう9月も終わりに近づいています。9月半ばから徐々に秋の訪れが感じられるようになり、最近の朝晩は肌寒さも感じられるようになってきました。

そんな中、10月4日(土)に行われる運動会に向けて、児童全員が競争競技、リレー、全校競技、応援の練習に頑張って取り組んでいます。6年生にとっては小学校生活最後の運動会、1年生にとっては広い校庭での初めての運動会。小学校生活のよい思い出となるようにしてもらいたいと願っています。一生懸命に励んでいる様子を見ていて、特に感じるのは6年生の素晴らしい姿です。一人一人が自覚をもって責任を果たそうとしている姿に感動を覚えます。「係の役割を果たしている姿」「意見を出し合ってよりよい方向に進めようとする姿」「思いが実現できるように必死になって声を出している姿」「下級生を優しくリードしている姿」こんな姿を下級生はどんな目で見ているのでしょうか。きっと、頼もしく感じているはずです。そして、自分が6年生になったら「こんな6年生になろう。」と感じてくれているのではないでしょうか。素晴らしい姿を見せてくれている6年生に大きな拍手と感謝を送りたいです。よい伝統を受け継ぎ、これから多くの場面で立派な姿を見せ、白根飯野小学校をさらによい学校にしてもらえることを信じています。



下級生は優しくリードしている姿。こんな姿を下級生はどんな目で見ているのでしょうか。きっと、頼もしく感じているはずです。そして、自分が6年生になったら「こんな6年生になろう。」と感じてくれているのではないでしょうか。素晴らしい姿を見せてくれている6年生に大きな拍手と感謝を送りたいです。よい伝統を受け継ぎ、これから多くの場面で立派な姿を見せ、白根飯野小学校をさらによい学校にしてもらえることを信じています。

«6年生は中学生の姿を見て・・・»

下級生は上級生の姿を見て学びます。では、6年生はというと。中学生の姿を見ることが必要になります。小中一貫教育の取組の一つとして、白根巨摩中学校学園祭「桃響祭(とうきょうさい)」文化部



門を参観してきました。終日参観というわけにはいきませんでしたが、吹奏楽部の演奏、中学3年生の演劇・合唱を堪能してきました。白根飯野小学校からの卒業生も進学していますので、中学生は身近な存在だと思います。しかし、これまで見せていた姿と違う姿を見て、半年後の自分の姿を想像したかと思います。私も参観しましたが、中学生は大勢の観客を前にして恥ずかしさを押し殺して堂々とした態度でパフォーマンスする姿や自己を知り自分の適性に合った役割を果たす姿、集団で各々の力を結集して一つのものを創り上げる姿を見せていました。そして、一人一人の生き生きとした表情があり充実感が溢れています。その陰には、長い努力の積み重ねがあったことと思います。何となく過ごして成果が出るわけではありません。「努力なくして成功なし。」です。6年生にとって、素晴らしい学びの機会になりました。披露してくれた中学生に感謝します。ありがとうございました。



～学校開放日がありました～

9月10日（水）に学校開放日が行われました。今年度になって再開されたものです。児童の様子をより深く知ってもらうために、1コマの授業だけでなく2コマ分の授業を参観できるように設定しました。公私共にお忙しく暑い中、多くの保護者の方々がご都合をつけてご来校いただきありがとうございました。これまでの授業参観では見られない教科の授業を参観していただき、普段の授業がどのように行われ



ているかが垣間見られたのではないでしょか。授業を受け持つ教員は、日々の教材研究を丁寧に行い、児童が学習内容を定着できるように児童の実態に合わせ授業の流れを仕組んでいます。学習内容だけでなく、予測困難なこれから時代を生きしていくための力も身につけられるよう、日々奮闘してくれているところでです。児童もそうですが、教員もご家庭からの励ましがモチベーションを高めてくれます。これからもご協力をお願いします。

[ムムム… 気になるなあ。]

2学期になって、ちょっと気になっていることがあります。校長の日課で毎日、校舎内を巡っています。その際、必ずチェックするのがトイレのスリッパです。

「1学期は、こうじゃなかったのになあ。」

これまでには、次の人が使うことを考えてきちんと揃えてくれていたのに、乱れている頻度が多くなってきてしまっています。そのたびに揃えておくのですが、また乱れてしまっています。児童は、今は運動会に向けて取り組んでいて慌ただしい日々を過ごしています。自分のことに手いっぱい、他人のことを考えることに気が回らないかもしれません。しかし、これが「自分さえよければいい。」という気持ちになってしまうことを懸念しています。白根飯野小学校の児童はそんなことはないと思いますが、常に相手の気持ちを意識した行動がとれるようになってほしいと願っています。誰もが気持ちよく学校生活が送れるようにしたいです。

【校長の独り言…】

私には20歳になる大学生の息子がいます。今は、夏休みで家にいますが、いつも「ムツ」とした表情でいて、我が子ながら顔を合わせるのも嫌になってしまっています。「外に出て、これでやっていけるの？」と心配です。

「初めて会う人（いつも会う人にも）に、これじゃ印象が悪いだろうな。」

「何事もうまくいかなくなるんじゃないかなあ。」「誰も助けてくれないだろうなあ。」

と今後が不安だったので、上手に人付き合いをしている人を観察してみました。

1 笑顔を絶やさない

・笑顔の人って感じがいいです。それに話しかけやすいです。一説によると笑顔を作ると脳内の幸せホルモンが分泌され、自分自身もリラックスできる効果もあるそうです。

2 姿勢がいい

・猫背やうつむき加減は自信がなさそうに見えますが、背筋をスッと伸ばす姿は堂々として自信を感じ頼りがいがありそうに見えます。

3 声のトーンが少し高い

・声が低すぎると暗く、高すぎると不自然に感じますが、明るく感じられるような少し高めのトーンで話をしてくれ親しみやすさを感じさせてくれます。

4 名前を入れて会話してくれる

・名前を入れてくれることで親近感を持たせてくれます。自然に信頼感にも結びつきます。

こんなこと学校じゃ教えてくれないし、どこで身につけたのだろうかと新たな疑問を抱きました。きっと、身近な人とコミュニケーションする中で自然と身につけたのかもしれません。ということは…。息子の態度は、私のせい?? またまた反省です！ 今からでも間に合うでしょうか。